

神戸大学に現れたツマグロキチョウ

伊藤誠人

ツマグロキチョウ *Eurema laeta* Boisduval は近年減少傾向にあり、環境省レッドデータブック(環境省, 2015)では絶滅危惧種IB類(EN)、兵庫県レッドデータブック(兵庫県, 2012)では要注目種として扱われている。その一方で、食草転換の可能性(渡邊, 2012)や、名古屋市での個体数の増加(高橋, 2012)についても報告されており、今後の動向が注目される種である。今回、筆者は兵庫県神戸市神戸大学構内において多数の本種を観察・採集したので報告する。

観察・採集データは以下の通りである。

2exs., 15. X. 2015, 神戸大学構内, 伊藤採集; 2exs., 28. X. 2015, 神戸大学構内, 伊藤採集



写真 2015年10月28日, 兵庫県神戸市神戸大学構内, 伊藤撮影.

筆者は2015年10月15日に神戸大学のテニスコートにおいて飛翔するツマグロキチョウを発見したが、捕虫網を持っていなかったためテニスラケットを使用し採集した。その後、10月28日に構内を探索したところ、飛翔する本種が10個体程度見られた。本種が多く見られた場所を中心に食草であるカワラケツメイについても探索を行ったが発見できなかった。また、近くを流れる都賀川周辺についても探索を行ったが、ツマグロキチョウ・カワラケツメイ共に発見できなかった。

多数の新鮮な成虫が見られたことから神戸大学構内、もしくは周辺において発生している可能性が高く、本来の食草ではなく渡邊(2012)で報告されているアレチケツメイを利用している可能性も考えられる。

○参考文献

高橋匡司, 2012. 名古屋におけるツマグロキチョウの増加. 昆虫と自然 47(10): 27-29.

渡邊通人, 2012. 絶滅危惧ツマグロキチョウとアサマシジミにおける食性転換の可能性. やどりが (231):

38-42.

環境省, 2015. 報道発表資料, 環境省レッドリスト2015(別添資料4, 昆虫類). <http://www.env.go.jp/press/files/jp/28061.pdf> (2015年10月28日閲覧)

兵庫県, 2012. 兵庫県の貴重な自然 兵庫県版レッドリスト2012(昆虫類). 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課. <http://www.pref.hyogo.lg.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2012/3-7.html> (2015年10月28日閲覧)

(Masato ITO 神戸大学大学院 昆虫多様性生態学研究室)